

2022年3月期第2四半期 決算説明会

2021年11月11日

TDCソフト株式会社

1. 2022年3月期第2四半期 決算概況（連結）

2. 2022年3月期第2四半期 主要施策の状況

3. 2022年3月期 見通しについて

代表取締役社長 小林 裕嘉

4. 2022年3月期第2四半期 決算内容

取締役執行役員 管理本部長 大垣 剛

2022年3月期第2四半期のポイント

2022年3月期第2四半期の実績

- ・ 期初より各事業分野は堅調に推移したことにより、
売上高は前年同期比11.2%増の14,661百万円で着地
- ・ 高付加価値分野である次世代型SI事業の拡大により収益性が向上したことや販売管理費の抑制効果等により **営業利益は前年同期比47.5%増の1,588百万円を確保**

TOPICS

中期経営計画 『Shift to the Smart SI』 2019.4-2022.3

- ・ 次世代SI事業全般 : 売上高構成比は16.2%（前年同期比+5.0%）に拡大
- ・ アジャイル関連事業 : 売上高は前年同期比36.6%増と着実に拡大
- ・ セキュリティ関連事業 : （株）インターネット総合研究所とサイバーセキュリティ分野でアライアンスを締結

**2022年3月期第2四半期
決算概況（連結）**

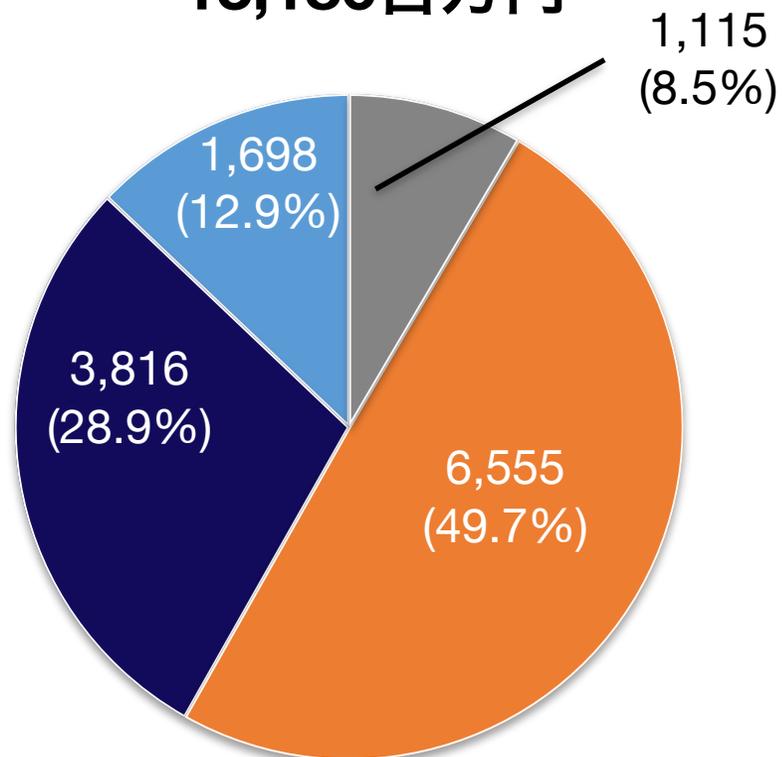
(単位：百万円)	2022年3月期 第2四半期	利益率	前年同期比	2021年3月期 第2四半期
売上高	14,661	-	+11.2%	13,186
売上総利益	3,090	21.1%	+15.0%	2,687
営業利益	1,588	10.8%	+47.5%	1,077
経常利益	1,647	11.2%	+48.8%	1,107
四半期純利益	1,117	7.6%	+49.9%	745

【ハイライト】

- コロナ禍における当社事業への影響は限定的であり、各事業分野は堅調に推移
- アジャイルやセキュリティといった重点戦略分野への積極的な投資を推進し
次世代型SI事業は計画を上回る進捗
- 販売管理費の抑制効果により営業利益率は向上

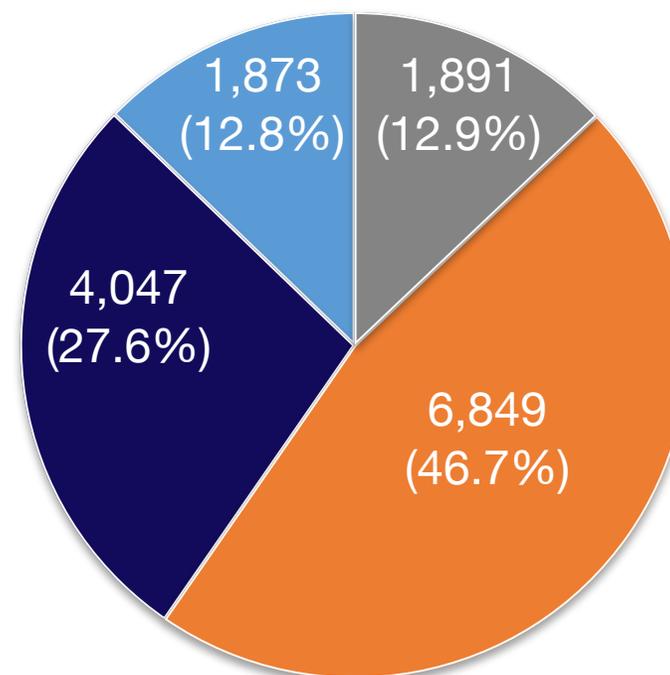
2021年3月期 第2四半期

13,186百万円



2022年3月期 第2四半期

14,661百万円



- ITコンサルティング&サービス
- 公共法人ITソリューション

- 金融ITソリューション
- プラットフォームソリューション

ITコンサルティング&サービス分野



お客様のDX推進に向けたIT戦略・システム化構想の立案、技術コンサルティング、教育サービス、自社クラウドアプリ、BI/DWH、ERP、CRMなどのソリューションサービスを提供

今後も拡大が予想される当該分野はITサービス管理、クラウドマネージメントサービス関連が牽引し拡大。

金融ITソリューション分野



金融業向けにシステム化構想・設計・開発・保守などの統合的なITソリューションを提供

昨年度発生したプロジェクトの中断や延伸等の影響は解消し、保険、クレジット関連のシステム開発案件等が堅調に推移。

公共法人ITソリューション分野



流通業、製造業、サービス業、公共向けにシステム化構想・設計・開発・保守などの統合的なITソリューションを提供

運輸業、通信業、エネルギー業向けの開発案件が堅調に推移。特に運輸業はDX向けの上流案件が増加しており、今後の拡大も期待される。

プラットフォームソリューション分野



ITインフラの環境設計、構築、運用支援、ネットワーク製品開発、ネットワークインデグレーション等を提供

クラウド関連のインフラ構築案件が堅調に推移。今後も需要拡大により堅実な成長が見込まれる。

**2022年3月期第2四半期
主要施策の状況**

ビジョン

市場の潜在ニーズを捉え、デジタル技術や新たな潮流に対応した次世代型のシステムインテグレーション事業へと進化する

次世代型システムインテグレーターを目指す

Shift to the **Smart SI**

中期経営計画

主要戦略

高付加価値SIサービスの追求

重点戦略分野の事業の拡大・高収益化を推進

アジャイル
関連事業

セキュリティ
関連事業

SIモデル変革の推進

高生産性と高品質を両立したSIプロセスの整備を推進

品質担保プロセスの効率化

業績目標

2022年3月期に売上高290億円
うち次世代型SI事業の構成比を20%程度に拡大

経営方針

中期経営計画最終年度の目標達成

次世代型SI事業の全体概況について

次世代型SI事業は順調に拡大

売上高構成比16.2%に拡大

(前年同期比+61.6%、計画比+19.1%)

当該事業の拡大などにより

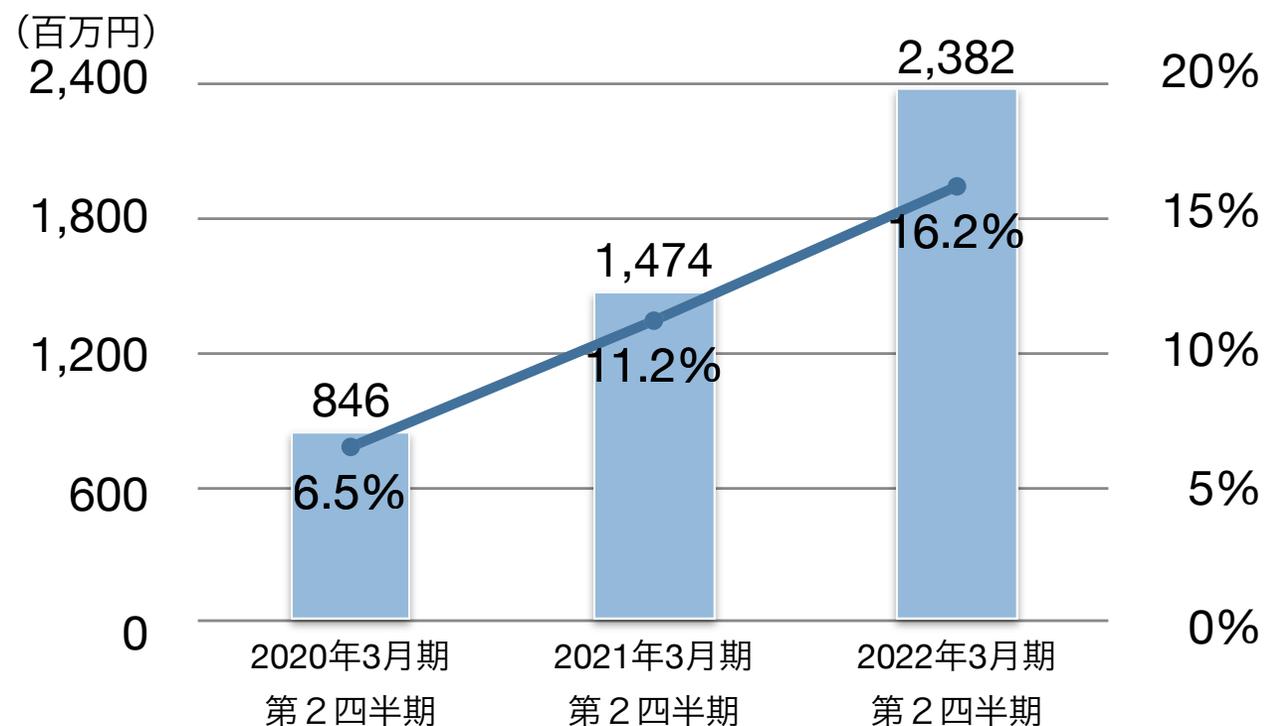
連結業績において収益性が向上

売上総利益率 21.1% (前年同期比+0.7%)

営業利益率 10.8% (前年同期比+2.6%)

経常利益率 11.2% (前年同期比+2.8%)

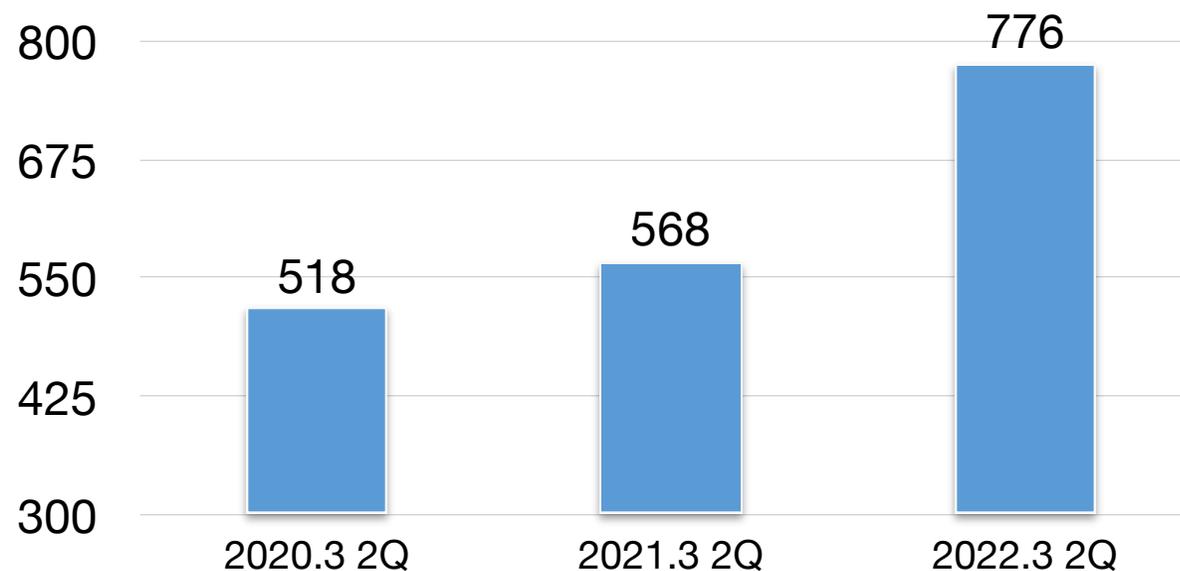
次世代型SI事業の売上高比率および売上高推移



TOPICS：重点戦略分野 アジャイル関連事業

顧客のDX需要拡大に伴い、
アジャイル関連事業の売上高は前年同期比36.6%と着実に拡大

アジャイル関連事業の売上高

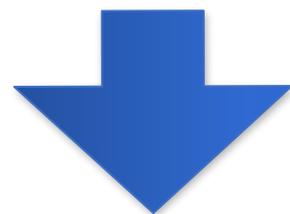


TOPICS : 重点戦略分野 アジャイル関連事業

リックソフト社と業務提携契約に向け基本合意



リックソフト社との業務提携により、日本のエンタープライズがより一層、
短期間で効果的にSAFe®を導入しビジネス変革を実現できるような
サービスの開発提供を目指しております。

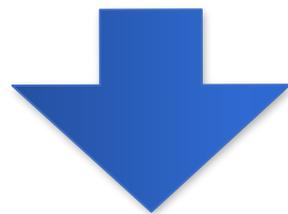


当社が保有するSAFe®サービスとリックソフト社が販売する製品を組み合わせ、
アジャイル関連ビジネスで新たなサービスを提供します。

TOPICS：重点戦略分野 セキュリティ関連事業

インターネット総合研究所とサイバーセキュリティ分野でアライアンスを締結

サイバーセキュリティに対する不安を解消するための新しいビジネスモデルを含めたサービスを共同検討しております。



両社のアライアンスによるシナジー効果により付加価値を加え、お客様に価値あるサービスを提供していくことを目指します。

2022年3月期 見通しについて

2022年3月期 重点施策

●積極的な投資の推進

堅調な経営状況を踏まえ、**更なる成長に向けた足場固めを行うため**積極的な投資を推進

アジャイルやセキュリティ等の重点戦略分野への投資

5G関連のビジネス化に向けた研究

自社製品（StyleFlow）の販売促進強化

(単位：百万円)	2022年3月期 業績・配当予想	利益率	前年同期比	2021年3月期 実績
売上高	29,000	-	+6.3%	27,292
営業利益	2,750	9.5%	+16.6%	2,358
経常利益	2,810	9.7%	+9.6%	2,564
当期純利益	1,880	5.9%	+9.9%	1,711
1株あたり 当期純利益	78.01円	-	+9.8%	71.03円
配当予想	26円	-	+8.3%	24円

2022年3月期第2四半期 決算内容

- 財務諸表
- 売上高分析
- 受注高・受注残高
- 営業利益分析

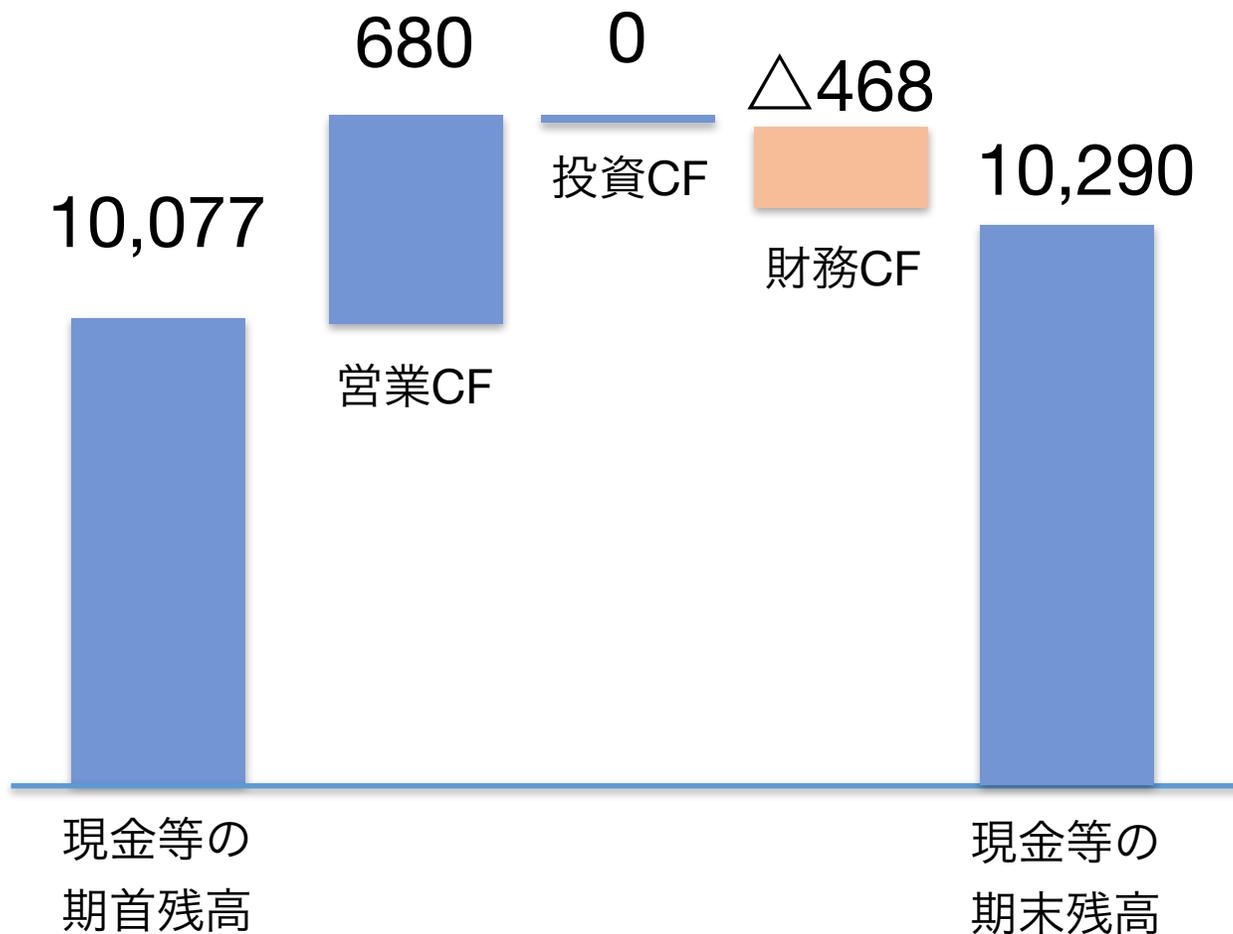
損益計算書

(単位：百万円)	2022年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	増減率
売上高	14,661	13,186	+11.2%
労務費	5,737	5,191	+10.5%
外注費	5,551	5,070	+9.5%
その他経費	362	383	△5.7%
仕掛増減高	△80	△146	+45.2%
売上原価	11,570	10,498	+10.2%
売上総利益	3,090	2,687	+15.0%
販管費及び一般管理費	1,502	1,610	△6.7%
営業利益	1,588	1,077	+47.5%
営業外収支	58	29	+96.7%
経常利益	1,647	1,107	+48.8%
税引前当期利益	1,647	1,107	+48.8%
四半期純利益	1,117	745	+49.9%
EPS	46.39	30.94	+49.9%

貸借対照表

(単位：百万円)	2022年3月期 第2四半期末	2021年3月 期末	増減率
資産合計	19,137	18,652	+2.6%
流動資産	15,475	15,081	+2.6%
固定資産	3,661	3,570	+2.5%
負債合計	4,843	4,989	△2.9%
流動負債	4,605	4,757	△3.2%
固定負債	237	231	+2.6%
純資産合計	14,293	13,663	+4.6%
負債純資産合計	19,137	18,652	+2.6%
自己資本比率	74.7%	73.3%	-
1株当たり純資産	592.76	566.99	+4.5%

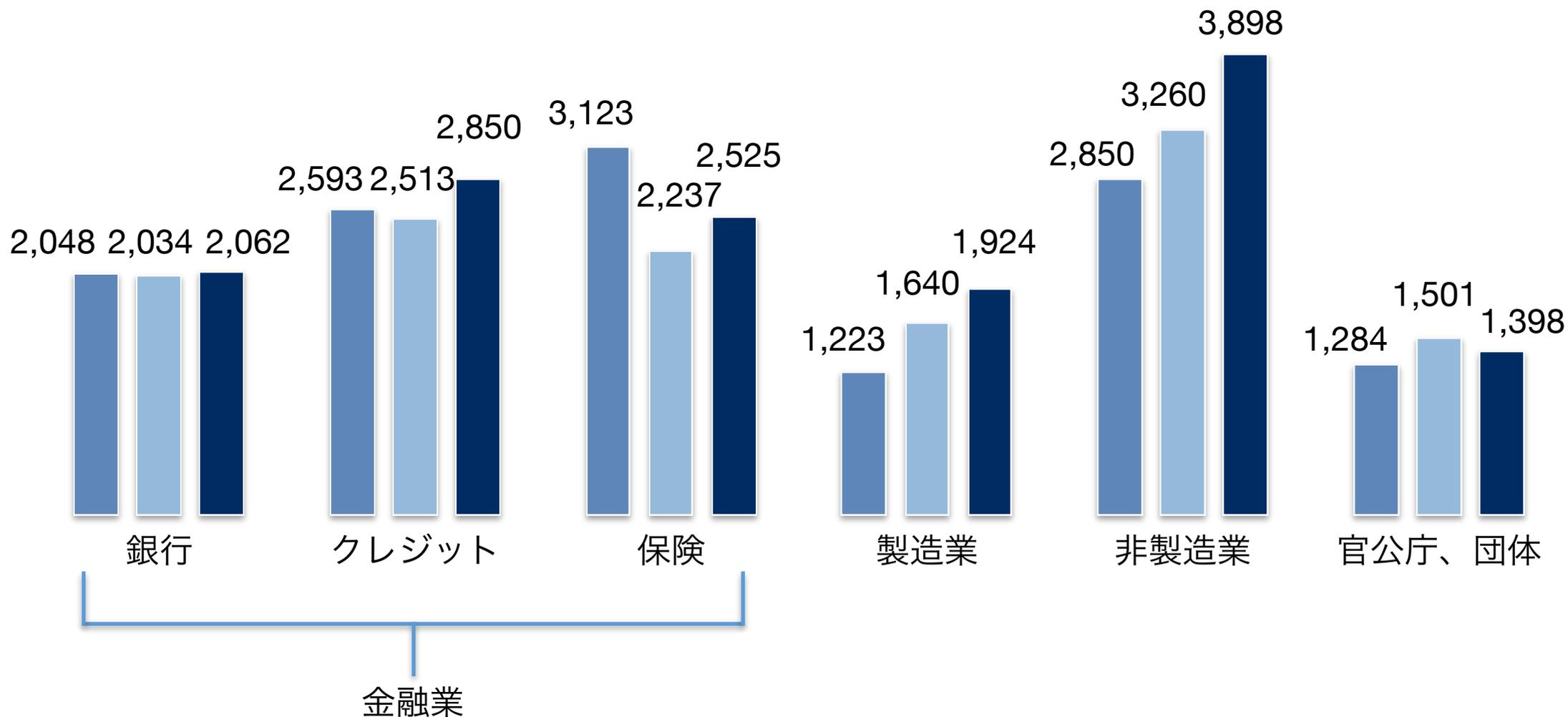
キャッシュフロー計算書



現金等の期首残高	10,077
税引前当期純利益	1,647
減価償却費	42
売上債権	△90
棚卸資産	△80
仕入債務	99
未払金	△45
未払費用	△103
未払消費税等	△153
その他	△57
法人税等	△580
営業CF	680
有形固定資産取得	△7
投資有価証券の取得	△6
投資事業組合分配収入	8
差入保証金	△17
利息及び配当金	21
その他	1
投資CF	0
短期借入金増減	124
配当金支払額	△587
その他	△4
財務CF	△468
現金等の期末残高	10,290

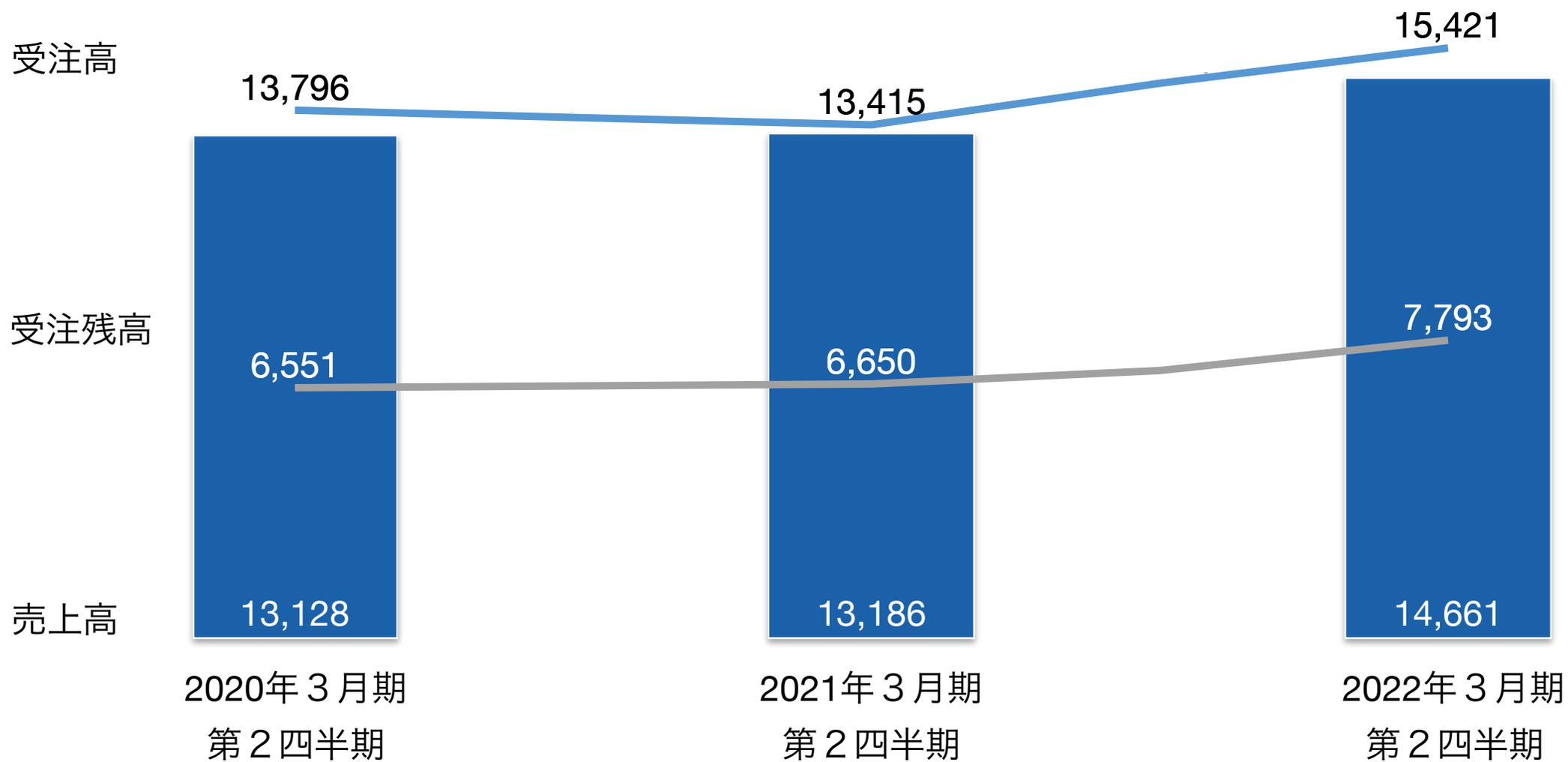
顧客業種別売上高概況

(百万円) ■ 2020年3月期第2四半期 ■ 2021年3月期第2四半期 ■ 2022年3月期第2四半期

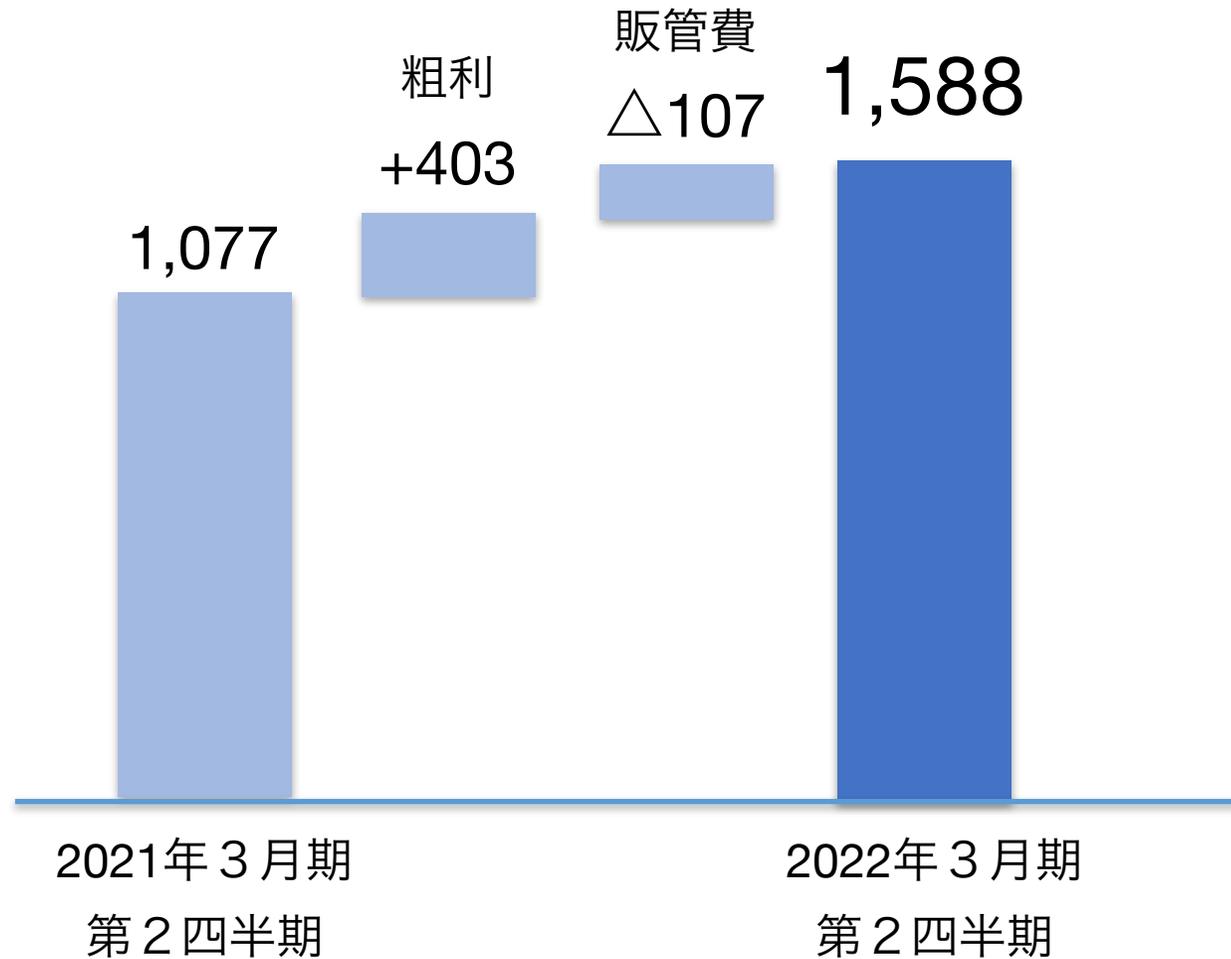


受注高・受注残高状況

(百万円)



(百万円)



<粗利益>

売上高の増加及び事業の高付加価値化による収益性の向上により増加

<販売管理費>

新卒採用の抑制により人件費や研修費が減少

TDCソフト株式会社

<https://www.tdc.co.jp/>

※本資料についてのご注意：

本資料に記載されているTDCソフトグループの将来の予想に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。

TDCソフト株式会社

<https://www.tdc.co.jp/>